

序章 「食すること」と「旅すること」 神崎宣武……………9

## 第1部 ひもじさがつきまとう旅で

第1章 イヌイットにみる狩猟行と食の風景 街道憲久……………16

- I 極北の民イヌイット 16  
狩猟の知恵と技術／北極圏の自然環境
- II カナダ北極圏の変遷 20  
穏やかな接触と変化／混乱する極北の町／野に戻った狩人
- III 豊かな極北の食風景 24  
夏のキャンプ／男は狩り、女は家事／一日四回の食事／  
食の作法／助け合いと奢り合い
- IV 極北の料理と狩猟行 33  
食材と加工／狩猟行と旅

第2章 中国明代の旅行家徐霞客の旅と飲食 渡部 武……………38

- はじめに 38
- I 中国近世の交通・宿泊事情と旅装 42
- II 『遊記』に記された西南中国各地の飲食文化事情 47  
湖南から貴州にかけての食文化体験／雲南での食文化体験
- むすび 59

第3章 時宗の遊行上人の旅と食 梅谷繁樹……………61

- はじめに 61
- I 『一遍聖絵』と『遊行上人縁起絵』 62
- II 遊行の人数 63
- III 遊行と食の風景 65
- IV 日常の食 70
- V ハレの食 74
- おわりに 79

長編コラム 飯炊きムーサの航海 岡村 隆……………82

——モルディブ諸島交易船の船上食——  
モンズーンの海で／交易船を支える暮らし／半自給自足の船旅／